

1 事業概要（Plan）

事業名	農業生産技術・経営改善支援事業				コード	C - 1 - 03						
SDGs					事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略						
国土強靱化計画	-				事業種別	-						
リスクシナリオ	-				事業種別	-						
事業期間	～				会計	一般	款	5	項	1	目	3
主担当課	産業振興課	課等長	金井 勉	予算科目	会計	款	項	目				
関係課	農業委員会			会計	款	項	目					
事業目的	農業を取り巻く環境が変化する中、生産技術の向上や経営改善を図る。											
事業内容	輝け！ちばの園芸次世代産地整備支援事業補助金を活用し、認定農業者の園芸作物に対する生産技術の向上を図るために、必要とする農業機械等の導入をサポートすること。											
対象	認定農業者等											
手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他											
計画期間中の主な取組	先進事例の調査・研究 研修会・講習会等の情報提供 農業研究会事業補助金 輝け！ちばの園芸次世代産地整備支援事業補助金											

2 取組状況・コスト（Do）

R3(2021)年度	先進事例の調査・研究 研修会・講習会等の情報提供 農業研究会事業補助金(1,020千円) 輝け！ちばの園芸次世代産地整備支援事業補助金(12,474千円)	区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度予算
取組状況		事業費計 A	13,494	21,380
		受益者負担 B		
		正職員数	0.10	0.10
		正職員経費 C	679	679
		総コストD=A+C	14,173	22,059
		市民1人コスト D/人口(円)	225.95	351.68
		受益者負担率 B/D(%)	0	0
改善策取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目		

3 事業の評価（Check）

	項目	評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	農業振興を推進していく中で農業生産技術等向上のため、高性能な機械等を導入する際に補助金を交付することは必要である。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
有効性	実施主体	市が実施主体となる必要がある	農業振興を推進していく中で農業生産技術等向上のため、高性能な機械等を導入する際に補助金を交付することは有効である。
	対象の範囲	適切である	
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
効率性	達成度	目標に近づいている	農業振興を推進していく中で農業生産技術等向上のため、高性能な機械等を導入する際に補助金を交付することは有効である。
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
	実施手法・運営主体	適切に設定されている	
効率性	受益者負担	求めることができない	農業振興を推進していくにあたり効率的である。
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	

4 今後の方向性（Action）

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 <input type="checkbox"/> 終了			R3 (2021)年度
				(実施時期： 年 月)
				(実施時期： 年 月)
				(実施時期： 年 月)
改善内容等				
改善により期待される効果				

1 事業概要（Plan）

事業名	中小企業活性化支援事業				コード	C - 2 - 01						
SDGs					事業種別	国土強靱化地域計画 まち・ひと・しごと創生総合戦略						
国土強靱化計画	-				事業種別	-						
リスクシナリオ	-				事業種別	-						
事業期間	R3(2021)年度 ～ R7(2025)年度				会計	一般	款	6	項	1	目	2
主担当課	産業振興課	課等長	金井 勉	予算科目	会計	款	項	目				
関係課				会計	款	項	目					
事業目的	市内中小企業の経営等を支援し、経営の安定化及び活性化を図る。											
事業内容	中小企業活性化支援事業の資金融資や融資金の利子補給、商店街の活動支援、経営セミナーの開催、相談支援などを行う。											
対象	市内中小企業者等											
手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 協働 <input type="checkbox"/> その他											
計画期間中の主な取組	・中小企業資金融資、・中小企業融資金利子補給費補助金の交付 ・中小企業退職金共済掛金補助金の交付、・商店街協同施設維持管理事業補助金の交付 ・経営支援セミナーの開催、・経営なんでも相談の実施											

2 取組状況・コスト（Do）

R3(2021)年度	・中小企業資金融資0件、・中小企業融資金利子補給費補助金19件・496,600円、・中小企業退職金共済掛金補助金8件・293,200円、・経営支援セミナー2回・30人、・商店街協同施設維持管理事業補助金6件・496,000円、・商店街街路灯LED化事業補助金1件・620,473円、・経営なんでも相談10回・2件	区分	R3(2021)年度決算	R4(2022)年度予算
取組状況		事業費計 A	39,414	40,726
		受益者負担 B		
		正職員数	0.40	0.40
		正職員経費 C	2,717	2,717
		総コストD=A+C	42,131	43,443
		市民1人コスト D/人口(円)	671.66	692.58
		受益者負担率 B/D(%)	0	0
改善策取組状況	前年度評価に伴う改善項目	その他改善項目		

3 事業の評価（Check）

	項目	評価	評価の理由・課題
必要性	事業のニーズ・実施意義	計画時と変わらない	市内中小企業の経営の安定化及び活性化を図るために、補助金等の支援をすることは、必要性が高い。
	市が関与する必要性	計画時と変わらない	
	市民生活・地域社会への影響度	大きい	
有効性	実施主体	市が実施主体となる必要がある	市内中小企業の経営の安定化及び活性化を図るために、補助金等の支援をすることは、有効性が高い。
	対象の範囲	適切である	
	取組の内容	目標の達成に向けた取組を行っている	
効率性	達成度	目標に近づいていない	支援にあたり施行規則等のプロセスに従い適正に処理されており、効率性が高い。
	上位の施策・目的への寄与	施策の実現に寄与している	
	実施手法・運営主体	適切に設定されている	
効率性	受益者負担	適切である	支援にあたり施行規則等のプロセスに従い適正に処理されており、効率性が高い。
	事業・サービスの水準	コストを抑え適切な水準で進められている	
	業務プロセス（進め方・手続き）	適切に進められている	

4 今後の方向性（Action）

事業の方向性	<input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休廃止 <input type="checkbox"/> 終了			R3 (2021)年度
				(実施時期： 年 月)
				(実施時期： 年 月)
				(実施時期： 年 月)
改善内容等				
改善により期待される効果				